

「（仮称）長野市豊野防災交流センター整備事業」設計者選定に係る
公募型プロポーザル

選定結果報告書

《公表版》

令和3年9月



長野市

(仮称) 長野市豊野防災交流センター整備事業設計者選定に係る選定結果を、「実施要領」に基づき次のとおり公表する。

「(仮称) 長野市豊野防災交流センター整備事業設計者選定に係る公募型プロポーザル実施要領」
(抜粋)

第13 提案内容の審査及び結果通知

(略)

(3) 審査結果については、選定委員会終了後速やかに公表するとともに、参加者すべてに対して参加申込書に記載したメールアドレス宛てに電子メールで次のとおり審査結果等を通知する。

(略)

カ 提案書の評価項目及び見積価格に対しての配点、採点及び価格点については、今後の当市の事業者選定に対し支障を及ぼすおそれがあるため、公開しない。また、評価順位についても、当該法人等の競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため、公開しない。

(その他)

第16 その他、本プロポーザルに関する事項は、次のとおりとする。

(略)

(9) 市は、選定結果の公表方法として、ホームページでの公表、記者会見等による報道機関への発表、広報紙等出判物への掲載等を予定している。

I 優先交渉権者について

(仮称) 長野市豊野防災交流センター整備事業を実施するにあたり、設計者の選定を、技術提案書等により総合的に審査・評価して優先交渉権者を選定する公募型プロポーザル方式により行った。

優先交渉権者 株式会社 第一設計

○選定の理由

技術提案書評価項目及び評価基準に基づき、(仮称) 長野市豊野防災交流センター整備事業設計者選定委員会(以下、「選定委員会」という。)の各選定委員が審査・採点し、その合計得点が最低基準(最高得点の60%以上)を満たし、委員毎の合計得点が高い順に順位得点(第1位2点、第2位1点)を配点し、最も得点が高い者を優先交渉権者として選定した。

(仮称) 長野市豊野防災交流センター整備事業 要求水準書で示した主な条件

1 敷地概要

- 【場所】 長野市豊野町豊野426-29番地 外6筆
(旧市営住宅沖団地敷地+廃止予定市道部分)
- 【敷地面積】 市道豊野252号線の西側敷地(事業計画地1) 約8,000㎡
市道豊野252号線の東側敷地(事業計画地2) 約740㎡
(図上求積、敷地面積は用地測量後確定)
- 【用途地域】 第一種住居地域
- 【建ぺい率】 60%
- 【容積率】 200%
- 【防火地域】 建築基準法第22条区域
- 【その他の区域】 指定なし
- 【接続道路】 南側：市道豊野沖線(幅員概ね12m)
北側：市道豊野236号線(幅員概ね6m)
西側：市道豊野236号線(幅員概ね6m)
東側：市道豊野236号線(最低幅員4.2m)
市道豊野252号線(幅員概ね6m)
- 【所有】 市有地

2 計画建物概要

市が想定している建物の概要は以下のとおりである。

ア. 複合施設棟(公民館、防災教育、一時避難場所としての機能を有する)

- 【延床面積】 1,000㎡以内
- 【構造】 設計者の提案による
- 【階数】 平屋建て

イ. 水防倉庫棟

- 【延床面積】 70㎡以内
- 【構造】 鉄骨造
- 【階数】 平屋建て

※複合施設棟と水防倉庫棟は別棟とする。

- ・整備事業費上限額 6.26億円以内

Ⅱ 選定経緯について

1 これまでの経緯

令和3年

6月7日	第1回選定委員会開催 ・実施要領、要求水準書の審議
6月28日	第2回選定委員会開催 ・実施要領、要求水準書の決定
6月30日	公募型プロポーザル実施の公告
7月15日	参加申請書提出締切
8月17日	技術提案書提出締切
9月22日	第3回選定委員会開催 ・技術提案書の審査 ・優先交渉権者及び次点者を選定
9月24日	市長へ優先交渉権者及び次点者を報告、市長が決定

2 選定委員会について

技術提案書の審査及び優先交渉権者等の選定は、市長が依頼し任命した者（学識経験者を含む）の8名で組織する「（仮称）長野市豊野防災交流センター整備事業設計者選定委員会」で行った。

Ⅲ 審査・選定経過について

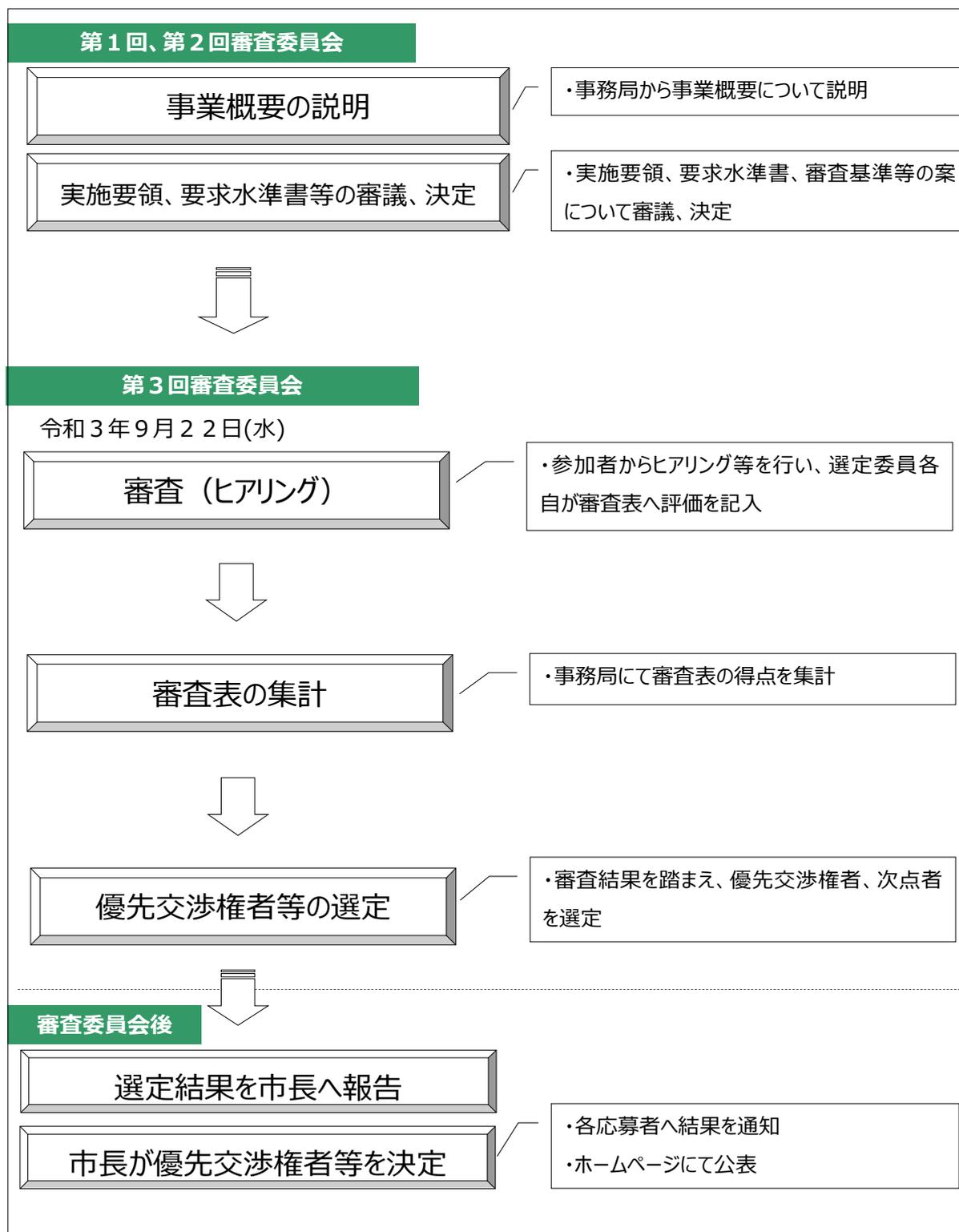
1 技術提案の受付及び技術提案書の審査

5事業者から参加申請書の提出があり、実施要領に示す参加資格要件について審査した結果、参加資格を有している事を確認した。5事業者の技術提案書を受付し、選定委員会において審査を行った。

参加者一覧

区 分	事業者名
参加者	株式会社 第一設計
	株式会社 宮本忠長建築設計事務所
	株式会社 林魏建築設計事務所
	株式会社 アーキプラン
	株式会社 エーシーエ設計

(1) 技術提案書の審査及び優先交渉権者選定のながれ



(2) 審査方法

- ① 技術提案書の審査にあたっては、実施要領に記載のある評価項目に沿って審査を行った。

評価項目	配点
1 業務実績及び取組体制	10
2 施設のコネプト	20
3 浸水防止対策	50
4 施設配慮	70
5 環境配慮	20
6 コスト縮減についての提案及びその根拠	40
7 コスト管理体制に対する考え方	20
8 施設工事見積額（予定工事費等）	10
9 その他提案	10
合計	250

- ② 各評価項目は、次のとおり5段階により評価を行った。

項目の評価	採点
非常に優れている	5点
優れている	4点
標準的	3点
標準より劣る	2点又は1点
評価に値しない	0点

得点は、5段階評価に配点を乗じたものとした。ただし、工事見積額に関する事項については、提案された工事費が最安値の参加者が満点となり、以下安価順の割合による配点とする。

(3) 集計方法

- ① 審査表に基づき選定委員毎に得点を算出し、合計得点が最低基準（最高得点の60%以上）を満たしたものについて、合計得点順に「順位得点」を配点する。
- ② 選定対象事業者の決定
順位得点の合計が最も高い応募者を優先交渉権者として選定するとともに、次点を準優先交渉権者とする。

2 審査の結果

参加者からのヒアリング終了後、得点を集計し、優先交渉権者として選定した。なお、2位の応募者を次点として選定し、実施要領に基づき、優先交渉権者と契約ができなかった場合に、優先交渉権者とする。

3 優先交渉権者等の決定

市長は選定委員会委員長から選定結果の報告を受け、「株式会社第一設計」を優先交渉権者、「株式会社宮本忠長建築設計事務所」を次点として決定した。

4 選定結果の公表

市長が優先交渉権者等を決定した後、実施要領に基づき、市のホームページを通じて選定結果の公表を行う。

5 まとめ

本市は、本事業の実施要領により行われた選定委員会の厳正かつ公正な選定結果に基づき、「株式会社第一設計」を優先交渉権者として決定した。今後は、「株式会社第一設計」を（仮称）長野市豊野防災交流センター整備事業の設計者として、設計業務に関する基本協定及び請負契約を順次締結していく予定である。

今後は、本事業を実施するにあたり、十分な協議を行い、経験とノウハウが合わさった良好な連携のもと、令和元年東日本台風により被災した豊野地区において、公民館機能と防災教育及び地域コミュニティ活動機能を兼ね合わせた拠点施設を提供するために、ご尽力いただくことを期待する。

長野市教育委員会事務局 家庭・地域学びの課
TEL : 026-224-5085 (直通) FAX : 026-224-5104
E-mail : manabi@city.nagano.lg.jp